

『不登校』を正しく知ってください

学校に登校できない「不登校」の子ども達が増えており、令和5年度は全国で34万人となっています。学校に登校できないことは特別ではなく、どの子どもにも突然起こる可能性があります。不登校は子どもからのSOSのサインです。一人ひとりが異なる背景や要因が複雑に絡まり、学校へ行きたくても行くことができない状況や、時には学校外での学びや家庭での休養が必要な場合もあります。

不登校の子ども達は、悩みや生き辛さを抱えて毎日を過ごしています。またその保護者や家族も子どもの将来に対する不安を抱えたり、世間からの視線に対して辛さを感じたりしている状況もあります。不登校を理解し、ニーズに合った適切な支援につなげていくことが大切です。

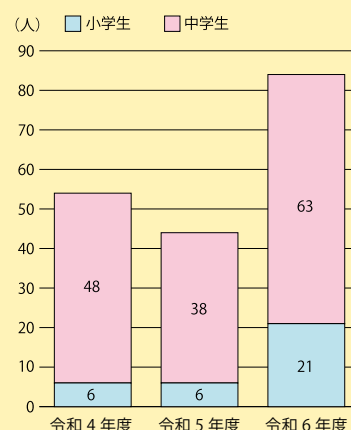


おもな不登校対応の取り組み

不登校の子ども達の居場所として、市教育支援センター「ふれあい教室」を設置しています。不登校やいじめ、子育てなどについての相談も受け付けており、専門の相談員が対応しています。また年6回、不登校の児童生徒の保護者を対象にした「保護者と語る会」を開催し保護者同士で不安や悩みを共有したり、子どもと接する方法などについての理解を深めたりしています。

学校では「集団づくり」や「授業づくり」を通して、すべての子どもに活躍の場と認め合う機会を与え自己有用感を高めることや、子どもにとって安心して学校生活が送れる場となるような「魅力ある学校づくり」の取り組みを行っています。

曾於市の不登校児童生徒数



曾於市教育支援センター「ふれあい教室」

学校に行けない状況にある児童生徒を学校へ復帰させていくための足掛かりとなる教室です。指導員による相談活動や学習指導、その他の活動を通して、自発性や社会性を育み、学校復帰への意欲を高めていきます。通室した日は原則として「出席扱い」となります。

基本的な一日の流れ

9:00 ~ 9:20	朝の会
9:20 ~ 10:10	学習①
10:10 ~ 10:20	休憩
10:20 ~ 11:10	学習②
11:10 ~ 11:20	休憩
11:20 ~ 12:10	学習③
12:10 ~ 12:40	昼食
12:40 ~ 13:25	昼休み
13:30 ~ 14:30	学習④
14:35 ~ 14:45	清掃(週に2回程度)
14:45 ~ 15:00	帰りの会



その日に学習したい教科の教科書などを持ってきます。基本的には、自分でその日の目標を決めて学習します。

学習以外にも、スポーツやゲームなどの活動を通して、自己表現や他者との交流を深める「フレンドリータイム」があります。

ふれあい教室の通学距離が片道4km以上ある場合、通学費の補助を受けることができます。

お問い合わせ

曾於市ふれあい教室
☎ 0986-76-5588

末吉教室：末吉町二之方 2019 番地（曾於市立図書館2階）
財部分室：曾於市財部町南俣 529 番地1